

# 廃木材よ…よみがえれ！！

廃木材には「マテリアルリサイクル」により与えられる使命がまだあります。



## 廃木材の利活用、このままでいいのでしょうか？

現在、廃木材の利活用について議論される際に、常に話題の中心になるのがバイオマス発電を中心とした「エネルギー利用」です。再利用することが出来ない廃棄物をエネルギーに還元することは非常に有効な活用法であると言えます。

しかし、「エネルギー利用」する前に、今一度考え直して下さい。

その廃木材は「マテリアルリサイクル」が出来るのではないのでしょうか？私達東京ボードグループは皆様とともに「マテリアルリサイクル」の手助けをさせていただきます。そして共にCO<sub>2</sub>削減を図り、地球環境をより良いものへと改善していきましょう！木々に永遠の命を与えたい…。それが東京ボードグループの使命です！！



私達は  
地球温暖化防止に  
全力で取り組みます

東京ボード工業株式会社  
本社 〒136-0082 東京都江東区新木場2-11-1 TEL:03-3522-4138 FAX:03-3522-4137  
新木場工場 〒136-0082 東京都江東区新木場2-12-5 TEL:03-3522-1524 FAX:03-3522-1525  
埼玉工場 〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-996-4541 FAX:048-996-4562  
横浜エコロジー株式会社  
〒236-0003 神奈川県横浜市金沢区幸浦1-4-2 TEL:045-778-1153 FAX:045-778-1154  
ティー・ビー・ロジスティックス株式会社  
〒340-0835 埼玉県八潮市浮塚100番地 TEL:048-994-1311 FAX:048-994-1315  
TB関西物流株式会社  
〒630-8452 奈良県奈良市北之庄西町1-6-11 TEL:0742-50-6222 FAX:0742-50-6667

「とうきょうさんぱい」

通巻第三九四号

令和五年七月一日

発行人 鈴木宏和

発行 一般社団法人 東京都産業資源循環協会

# とうきょう さんぱい

第40巻第4号 通巻第394号  
394  
令和5年7月1日発行

## 第11回 定時総会を開催 4年ぶりに表彰式・懇親会を執り行う

全産連 第70回 関東地域協議会が開催された  
収集運搬委員会 産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー







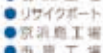
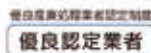
# 廃棄物を100%資源に

地球にやさしい燃料を作っています。  
廃棄物処理を通じてSDGsの実現に貢献。



- 廃棄物の再資源化(産廃・一般廃)  
化石燃料使用の削減を図るため、廃棄物から RPF(固形燃料)、  
フラブ燃料を作り出す再資源化を推進します。
- プライベートバースの設置  
陸送よりも CO2 排出の少ない船舶輸送を推進します(モーダルシフト)。
- 埋立ゼロを目指して  
廃棄物の 100%リサイクルにより、サステナブルな循環型社会を目指します。

有明興業株式会社  
ARIAKE KOUSEYO CO., LTD.



- 岩洲工場 東京都江東区岩洲 2-8-25
- リサイクルポート 東京都江東区岩洲 2-8-17
- 京浜工場 東京都大田区京浜 3-3-14
- 市原工場 千葉県市原市玉船町 2-9-1
- 八丈島事業所 東京都八丈島八丈町大島 8316-1

本社 〒136-0083 東京都江東区岩洲 2-8-25 TEL: 03-3522-1911 FAX: 03-3522-1919 <http://www.aknet.co.jp/>

### CONTENTS

**第 11 回 定時総会を開催** ..... 2

定時総会  
 定時総会・新理事紹介・表彰式 ..... 2  
 令和4年度 事業報告(概要) ..... 4  
 令和4年度 決算報告(概要) ..... 8  
 役員名簿 ..... 9  
 令和5年度 表彰受賞者 ..... 10

懇親会  
 会長挨拶・来賓祝辞・乾杯・中締め ..... 11  
 来賓芳名簿 ..... 16

賛助会員コーナー ..... 3

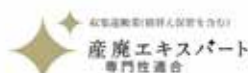
### 全国産業資源循環連合会

**第 70 回 関東地域協議会が開催された** ..... 17

### 収集運搬委員会

**産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー** ..... 18

## 『ありがとう』という感謝の心



# 株式会社 八チオウ



優良産廃処理業者認定制度  
優良認定業者

都心事業所 〒130-0004  
東京都墨田区本所 4-29-2  
TEL 03-3625-2080 FAX 03-3829-2307

西東京事業所 〒193-0813  
東京都八王子市四谷町 1927-2  
TEL 042-625-4696 FAX 042-625-4643

ハチオウ 検索

SDGsへの取組 目標8「経済成長と雇用」 ..... 20

身近なヒヤリ・ハット事例 Part 168 ..... 21

女性部だより 全産連女性部協議会主催『第1回実践研修会@京都』を実施! ..... 22

理事会・委員会報告 第83回理事会、中間処理委員会〈中和・脱水分科会〉、医療廃棄物委員会、  
人材確保プロジェクト、中間処理委員会、法制度検討委員会 ..... 24

新入会員紹介 日本テクノ(株)、エクイス環境ジャパン(株) ..... 26

協会の主な今後の日程 ..... 27

広告 (株)坂本鉄工建設(正会員:(株)太陽油化グループ会社) ..... 28

広告 (株)京葉興業(正会員) ..... 29

投稿 映画で知る環境問題 Part 3 ..... 30

事務局だより・編集後記 ..... 32

表紙の言葉 ..... 27



# 第 11 回 定時総会を開催

## 4年ぶりに表彰式・懇親会を執り行う

東京都産業資源循環協会は、令和 5 年 5 月 25 日(木) 15 時から、ホテル椿山荘東京（文京区関口）において、第 11 回定時総会・令和 5 年度表彰式・懇親会を開催した。

定時総会では、令和 4 年度事業報告のあと、決算報告・理事選任の件につき審議し、原案どおり承認可決された。総会終了後に挙行了した令和 5 年度表彰式、懇親会は、令和元年以来 4 年ぶりに顔を合わせての開催となった。また、会場前の通路には、「賛助会員コーナー」を設け、4 社が自社の事業紹介を行った。（取材 塩沢 美樹）

### 定時総会

#### 1 定足数報告

司会の二木玲子 常任理事より、本日現在の正会員数は 534 名のところ、出席正会員数は委任状及び議決権行使による表決数を含め 384 名（出席率 72%）であり、本総会は適法に成立していることが報告された。

#### 2 開会

森雅裕 常任理事の開会宣言に続き、鈴木宏和 会長が開会挨拶の後、仮議長を務め、定款に基づいて赤石賢治 副会長を議長に指名した。

赤石 副会長は議長に就き、議事録署名人に、野村幸江 常任理事・有吉嘉一郎 理事の 2 名を指名した後、議案審議に入った。

#### 3 議事

##### ●報告事項 令和 4 年度 事業報告

木村尊彦 専務理事が、議案書に基づき、令和 4 年度の事業報告を行った。

※事業報告概要は 4～7 ページ

##### ●第 1 号議案 令和 4 年度決算報告承認の件

木村 専務理事が、議案書に基づき、決算内容を説明し、承認を求めた。

山下智栄子 監事が議長の指名をうけ、決算並びに理事の業務執行につき監査した結果、いずれも正確妥当であることを認めた旨を報告し、本案は原案どおり承認可決された。 ※決算概要は 8 ページ



総会会場

##### ●第 2 号議案 理事選任の件

木村 専務理事が、議案書に基づき、理事候補者は 1 名で、鈴木研二 氏（元東京都職員）であること、任期は令和 6 年定時総会の終結の時まで、その理由は他の理事の任期の期限と同じとするため、と説明した。

議長が本議案について議場に諮ったところ、役員候補者名簿のとおり、理事 1 名が選任され、本人も就任を承諾した。

※役員名簿は 9 ページ

#### 4 閉会

井上弘之 常任理事が閉会を宣言し、定時総会は終了した。

### 新理事紹介・挨拶



鈴木研二 専務理事

総会終了後、臨時理事会を開催し、理事の互選により、新理事の役付け選定を行った結果、鈴木研二 氏が専務理事に選任された。

鈴木 専務理事は「私は東京都環境局を中心に気候変動関係、資源循環、また、オリンピック関係の仕事にも携わってまいりました。今後は鈴木 会長のもと、木村 専務理事の後を引き継いで、皆様のご協力を

いただきながら、協会のために誠心誠意努めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。」などと挨拶した。

### 表彰式

続いて、「一般社団法人 東京都産業資源循環協会 顕彰及び表彰規程」に基づく表彰式を執り行い、「功労者表彰」、「優良事業所表彰」、「優良従事者表彰」、「感謝状」、「安全衛生表彰の安全衛生推進委員会 委員長賞」の 5 つの表彰を行った。

※表彰受賞者は 10 ページ

### 賛助会員コーナー

#### ◎出展企業（敬称略） ※右欄は主な事業

- |                |  |
|----------------|--|
| 1 株式会社 アスア     | コンサルティング事業   |
| 2 エクオ 株式会社     | 廃棄物業界の DX 及び広報プロモーション  |
| 3 アデコ 株式会社     | 人材サービス業  |
| 4 JOMYAKU 株式会社 | システム・ソフトウェア・IT、廃棄物・リサイクル事業者様の配車業務を効率化する Web ツール「まにまに」の開発・運営・販売、DX 推進支援 |



1



3



2



4

## 令和 4 年度 事業報告・決算報告（概要）

### 1. 適正処理・資源循環推進事業

#### (1) 調査研究事業

##### 1) 調査研究

適正処理の推進と循環型社会・脱炭素・デジタル社会の進展に向けた調査研究を行い、東京都などへの提案を行った。具体的には、令和 5 年度の東京都予算への要望、東京都の環境確保条例の改正案や環境基本計画の改正案についての意見提出、リチウムイオン電池の発火による損害に関するアンケート回答結果の経済産業省への提出、などを行った。また、(公社) 全国産業資源循環連合会〔以下、全産連〕から、脱炭素の取組調査の受託を受け、産業廃棄物の排出事業者と会員の処理業者にアンケートとヒアリングを行った。

##### 2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌「とうきょうさんばい」やホームページ、各種研修会、相談業務を通して提供した。

#### (2) 研修事業

##### 1) 一般研修事業

建設廃棄物・四団体合同施設見学会・勉強会は、建設廃棄物について排出事業者団体、処理業者、行政の三者によって施設見学会・勉強会を行うもので、34 名の参加があった。

また、産業廃棄物処理 実務者研修会の開催、都立職業能力開発センター

への講師の派遣を行った。

##### 2) 講習会事業（許可申請等に関する講習会）

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬課程、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である（公財）日本産業廃棄物処理振興センターに協力し実施した。新型コロナウイルス感染防止対策として、多くは Web 申込によるオンライン学習の後、会場で試験を受ける方法で実施した。

#### (3) 相談指導事業

令和 4 年度からは専門相談員を廃止し、事務局職員にて、会員の産業廃棄物処理業者の紹介を行い、法律相談があった場合は東京都環境局等を紹介している。

令和 4 年度の相談件数は 2,817 件で、昨年度の 1.3 倍と増加した。

### 2. 環境対策事業

災害廃棄物対策事業として、西秋川地区や、23 特別区、さらには西多摩衛生組合地区での災害廃棄物処理マニュアルの策定等に参加した。

### 3. 普及事業

#### (1) 普及事業

##### 1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取組状況などを、機関誌「とうきょうさんばい」をはじめ、ホームページ等で紹介し、広報に努めた。

##### 2) 図書等の有償頒布

「マニフェストシステムがよくわかる本」「建設廃棄物処理委託契約書」「建設廃棄物処理委託契約書様式及び記入例」の販売を行った。

##### 3) 産業廃棄物管理票（マニフェスト）普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、全産連及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。頒布実績は、対前年度比 94% となり、過去 5 年間では 4 分の 3 に減少した。この分、電子マニフェストの普及が進んだものと考えられる。

#### (2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌「とうきょうさんばい」は第 380 号から第 391 号を発行した。

#### (3) 会員事業

##### 1) 会員研修事業

会員に限定した研修会・講習会で、会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 国内処理施設見学研修会は、コロナ対策のため、3 年続いて中止とした。

② 安全衛生研修会〔安全衛生推進委員会主催〕は、2 月に三部構成で、東京労働局の講演、重機に伴う事故防止、わが社の安全衛生に関する研修会を開催した。

③ ヒヤリハット動画を活用した KYT（危険予知訓練）〔収集運搬委員会主催〕は、ドライブレコーダー動画を使用した、ワークショップ形式の研修会を実施した。

##### 2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため例年行ってきた 5 月の定時総会後の懇親会は中止したが、6 月の多摩支部懇談会、1 月の賀詞交歓会は 3 年ぶりに実施した。

② 新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を 6 月及び 11 月に開催した。

③ 23 区地区別懇談会を初めて開催し、会員との意見交換を行った。

④ 第 10 回定時総会で定款を変更した結果、産業廃棄物処理業許可を有する賛助会員 9 者に変動があった。

会員数（正会員及び賛助会員）は、令和 4 年度中 12 社入会、22 社退会の結果、令和 5 年 4 月 1 日現在 608 社となった。

⑤ 関係団体との協力では、全産連、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行ったが、東京で予定されていた全国大会は 3 年続いて中止となった。



### 3) 顕彰・表彰事業

令和 4 年度は、『優良事業所表彰』6 社、『功労者表彰』3 名、『優良従事者表彰』4 名、『感謝状』5 名を表彰した。

### 4) 人材の確保に向けた採用支援

① 人材確保プロジェクトで、新たに、人事担当者ネットワークの登録を行い、メール配信を行った。

また、11 月に賛助会員による「採用市場速報～売り手市場でも採用成功している企業の取り組みとは？」と題するオンラインセミナーを開催した。

② 「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」[(公財) 東京しごと財団] を令和 4 年度と 5 年度の 2 か年で実施している。セミナーの開催、参加各企業でのコンサルティング、業界 PR 動画の作成を行っている。

### 5) 電子マニフェスト普及促進事業

東京都環境局、東京都環境公社、当協会の 3 者で締結した協定に基づき、令和 3 年 4 月から 2 か年事業として行った。協会会員企業であって産廃エキスパート、産廃プロフェッショナルを取得している企業に募り、16 社が参加して、排出事業者紙マニフェストから電子マニフェストへの転換を促した。

### 4. 管 理 運 営

定時総会 (1 回)、理事会 (定例会 8 回)、常任理事会 (8 回) を開催した。

協会事務運営では、事務の効率化のため、

会費の自動振替と、会員への電子メールによる情報提供を進めている。

### 5. 委員会・部会活動

#### (1) 総務委員会

総務委員会は、事業計画や協会の財政基盤強化などについて協議、調整を行った。

#### (2) 法制度検討委員会

「今の市場が必要とする廃棄物積替え保管業とは」をテーマに、東京都環境局の意見も踏まえて検討を重ねている。

東京都の第三者評価制度の見直しについては、3 月に東京都環境局と意見交換を実施した。

#### (3) 広報委員会

機関誌「とうきょうさんばい」の編集を中心に毎月 1 回 (年 12 回) 委員会を開催した。

#### (4) 安全衛生推進委員会

3 回の委員会と 1 回の研修会を行った。令和 4 年度は初めて、東京労働局との合同安全衛生パトロールを実施した。昨年度に引き続き、安全衛生標語募集を行い、優秀者の表彰、優秀標語のポスター作製配布を行った。

ヒヤリハット事例は協会機関誌に毎月掲載している。

#### (5) 収集運搬委員会

委員会を 4 回開催し、自動車運転手

の時間外上制限への対応や、従業員のモチベーションにつながる自社の魅力などについて意見交換したほか、運行管理者意見交換会 (オンライン開催)、ドライブレコーダー動画を活用した研修会等を開催した。

#### (6) 中間処理委員会

日本化学工業協会、プラスチック循環利用協会と、ケミカルリサイクルの取組状況や最近の動向について意見交換した。

アマゾンウェブサービスジャパンで、DX の勉強会を実施した。

【破碎・圧縮分科会】は、LCA の勉強会、RE100 (再生可能エネルギー) の取組についての講演会、産廃処理施設での重機の安全対策について勉強会を実施した。

【焼却分科会】は、CCUS についての勉強会を開催し、また、各社の取組の動向について意見交換した。

【中和・脱水分科会】は、廃液・汚泥処理施設の視察を行った。

#### (7) 建設廃棄物委員会

委員会を 2 回と、四団体合同施設見学会・勉強会を開催した。

【建設混合廃棄物分科会】は、3 県の協会と建設廃棄物協同組合を加えて、建設廃棄物業界のデジタル・トランスフォーメーション推進事業 東京モデルについて検討を進めている。

【建設汚泥・再生砕石分科会】は、産業廃棄物処理事業振興財団や、東京都都市整備局と、再生砕石に関する意見

交換を行った。

#### (8) 医療廃棄物委員会

委員会を 5 回開催し、東京都協会と神奈川県協会共同で、環境省へ新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急要望を依頼する文書を全産連に提出した。また、神奈川県協会・静岡県協会との合同懇談会を開催し、コロナ問題、物の値上げ状況下での考え方、大規模災害時の協力体制について意見交換をした。

#### (9) 多摩支部

6 月に、支部会・講演会・研修会を開催した。

2 月には、多摩環境事務所と八王子市廃棄物対策課との適正処理意見交換会を実施した。

#### (10) 青年部

幹事会 (11 回)、定時総会、新春講演会・賀詞交歓会を開催した。

【総務・広報委員会】【研修委員会】【コミュニケーション委員会】がそれぞれ活動し、自然体験会、マネージメントゲーム研修、首都圏外郭放水路見学会を開催した。

#### (11) 女性部

幹事会 (10 回)、定時総会、臨時総会 (1 回) を開催した。

上智大学のゼミで「女性目線で見えた産業廃棄物処理業の実情」を講演、金属リサイクル施設の見学会、廃棄物ビジネスの DX を学ぶ勉強会、パワハラ防止に関する法律勉強会を開催した。

正味財産増減決算  
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額 A	決算額 B	差異 A-B	執行率 B/A	備 考
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①受取入金	230,000	160,000	70,000	69.6%	
正会員受取入金	200,000	80,000	120,000	40.0%	
賛助会員受取入金	30,000	80,000	△ 50,000	266.7%	
②受取会費	75,980,000	75,257,000	723,000	99.0%	
正会員受取会費	72,000,000	71,527,000	473,000	99.3%	
賛助会員受取会費	3,980,000	3,730,000	250,000	93.7%	
③事業収益	49,408,000	50,463,390	△ 1,055,390	102.1%	
研修事業収益	780,000	237,000	543,000	30.4%	
許可申請講習会事業収益	12,133,000	13,016,440	△ 883,440	107.3%	講習会事務手数料等
普及事業収益	1,400,000	1,480,150	△ 80,150	105.7%	図書頒布料等
マニフェスト普及事業収益	19,800,000	21,700,600	△ 1,900,600	109.6%	マニフェスト頒布料等
機関誌発行事業収益	8,040,000	8,552,000	△ 512,000	106.4%	機関誌広告料
会員事業収益	7,255,000	3,977,200	3,277,800	54.8%	賀詞交歓会会費等
受託事業収益	0	1,500,000	△ 1,500,000	-	全産連脱炭素調査
④雑収益	606,000	649,241	△ 43,241	107.1%	
受取利息	8,000	2,314	5,686	28.9%	預金利子
雑収益	598,000	646,927	△ 48,927	108.2%	保険紹介手数料等
経常収益計	126,224,000	126,529,631	△ 305,631	100.2%	
(2) 経常費用					
①事業費					
A適正処理推進事業	33,516,000	32,244,411	1,271,589	96.2%	
調査研究事業費	9,571,000	9,257,350	313,650	96.7%	
研修事業費	19,202,000	18,214,278	987,722	94.9%	
相談指導事業費	4,743,000	4,772,783	△ 29,783	100.6%	
B環境対策事業	2,595,000	2,376,856	218,144	91.6%	
環境対策事業費	2,595,000	2,376,856	218,144	91.6%	
C普及事業	76,650,000	70,142,894	6,507,106	91.5%	
普及事業費	33,014,000	33,371,437	△ 357,437	101.1%	マニフェスト仕入額等
機関誌発行事業費	14,890,000	14,501,577	388,423	97.4%	
会員事業費	28,746,000	22,166,474	6,579,526	77.1%	交歓会経費、全産連負担金等
受託事業費	0	103,406	△ 103,406	-	全産連脱炭素調査
事業費 合計	112,761,000	104,764,161	7,996,839	92.9%	
②管理費 (法人管理費)	15,532,000	13,899,232	1,632,768	89.5%	
経常費用計	128,293,000	118,663,393	9,629,607	92.5%	
当期経常増減額	△ 2,069,000	7,866,238	△ 9,935,238		
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	-	
(2) 経常外費用					
予備費	2,500,000	0	2,500,000	0.0%	
経常外費用計	2,500,000	0	2,500,000	0.0%	
当期経常外増減額	△ 2,500,000	0	△ 2,500,000	0.0%	
当期一般正味財産増減額	△ 4,569,000	7,866,238	△ 12,435,238		
一般正味財産期首残高	144,165,898	144,165,898			
一般正味財産期末残高	139,596,898	152,032,136	△ 12,435,238	108.9%	
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	-	
指定正味財産期首残高	0	0	0	-	
指定正味財産期末残高	0	0	0	-	
III 正味財産期末残高	139,596,898	152,032,136	△ 12,435,238	108.9%	

一般社団法人 東京都産業資源循環協会  
役員名簿

令和5年5月25日

役 職 名	氏 名	勤 務 先	備 考
会 長	鈴木 宏 和	(株)京葉興業	
副 会 長	赤 石 賢 治	(株)三凌商事	
〃	細 沼 順 人	成友興業(株)	
〃	五十嵐 和 代	(株)五十嵐商会	
〃	加 藤 宣 行	加藤商事(株)	
専務理事	鈴木 研 二	(一社) 東京都産業資源循環協会	新任
常任理事	都 築 建	都築鋼産(株)	
〃	白 井 徹	白井エコセンター(株)	
〃	二 木 玲 子	大谷清運(株)	
〃	森 雅 裕	(株)ハチオウ	
〃	野 村 幸 江	(株)東京クリアセンター	
〃	井 上 弘 之	東京ボード工業(株)	
理 事	石 田 太 平	(株)太陽油化	
〃	有 吉 嘉一郎	(株)東京スタンドサービス	
〃	福 田 隆	東港金属(株)	
〃	高 橋 潤	高俊興業(株)	
〃	新 川 研	(株)都市環境エンジニアリング	
〃	比留間 宏 明	比留間運送(株)	
〃	矢 部 要	丸順商事(有)	
監 事	小 林 治 彦	東京商工会議所	
〃	山 崎 隆 一	松田産業(株)	
〃	山 下 智栄子	(有)スリーシープランニング	

【任期】第12回定時総会終結時まで

尚、木村尊彦専務理事は5月25日第11回定時総会終結時をもって事務局長に転任いたしました。



## 令和 5 年度 表彰受賞者

(順不同)

### ✳ 功 勞 者 表 彰 受 賞 者

矢 部 要 様 丸順商事(有) 代表取締役  
比 留 間 宏 明 様 比留間運送(株) 代表取締役



### ✳ 優 良 事 業 所 表 彰 受 賞 者

三東運輸 株式会社 様  
日本衛生 株式会社 様  
株式会社 春江 様  
株式会社 エコ・ファクトリー 様



### ✳ 優 良 従 事 者 表 彰 受 賞 者

矢 部 隆 司 様 (株)三凌商事  
廣 江 勝 様 (株)増淵商店  
井 坂 浩 様 大谷清運(株)



### ✳ 感 謝 状 受 賞 者

鈴 木 眞 吾 様 前事務局長



### ✳ 安 全 衛 生 表 彰 受 賞 者

安全衛生推進委員会委員長賞 <従事者>  
大 関 卓 也 様 成友興業(株)  
あきる野事業所



### 懇親会

表彰式終了後、17時30分より五十嵐和代 副会長の司会により懇親会を開催した。鈴木 会長の挨拶に続き、来賓の方々から祝辞を頂戴した。

### 会長挨拶

#### ■ 鈴木宏和 会長



ご多用の中、多くの皆様のご出席を賜り、衷心より感謝申し上げます。

先程開催された第 11 回定時総会において、令和 4 年度の事業報告及び決算が滞りなく承認されましたことを、ここに報告するとともに、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

また、今回は、この 3 月末に東京都庁を退職された鈴木研二 氏を理事とすることの承認を総会でいただき、引き続き開催された臨時理事会において、鈴木研二 氏が新しい専務理事に就任いたしました。わたくしを含め、今後とも、協会役員は一丸となって、協会の発展並びに業界のために努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本日の懇親会には、ご多用にも拘らず環境省 環境再生・資源循環局 局長の土居 様、協会顧問である東京都議会議員の先生がた、東京都環境局 局長の栗岡 様、全国産業資源循環連合会 専務理

事の室石 様、その他、多数の関係団体の来賓の皆様がご出席くださいました。

この場をお借りて、日頃より協会の運営にご支援ご協力いただいております会員の皆様及び顧問の皆様、行政、関係団体の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。引き続きのご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、ウクライナでの戦争が終結し一日も早く平和が訪れることを願ってやまないところではございますが、この戦争により、資源安全保障という問題も注目されています。経済が世界的規模で動いている中、地産地消や国産国消をどう進めていくかを考えながら、我が産業廃棄物処理業界は、循環経済の中心的な担い手として、大きく飛躍していかなければなりません。

また、廃プラスチックに代表される海洋汚染問題や脱炭素などの地球規模の環境問題の解決に向けた活動を進めていくことも、我々業界に求められています。

これらに行政機関等と連携し活動して参る所存です。

災害廃棄物処理の広域的な支援体制を整えていくことも重要です。当協会は国、東京都、区市町村との関係強化を進めるとともに、全国産業資源循環連合会や関東地域協議会の各協会との調整を重ねて、災害廃棄物が発生した場合の迅速、確実な処理体制を構築してまいります。

また、これらの期待に応えていくためにも、産業廃棄物処理業界に働く従業員の人材確保と定着に向けた取組も肝心です。

優秀で、やる気のある従業員が末永く勤められるように、安全な労働環境の整備に経営者が先頭に立って取り組むと

ともに、給与や労働時間などの改善や、従業員のモチベーションを高めていく取組を進め、他の業界に負けない魅力ある職場を提供していきたいと思ひます。

そのために、協会としても、勉強会や研修会、人材育成事業を通じて、会員企業を力強く支援してまいりますので、会員の皆様から、引き続き、協会事業に対する忌憚のないご意見・ご要望をいただけたら幸いです。

本日のこの懇親会には、功労者表彰、優良事業所表彰、優良従事者表彰、安全衛生表彰を授与された受賞者の皆さんも参加しております。受賞者の皆様と喜びを分かち合い、祝福していただければ幸いです。

また、私からのお願いです。昨年地区別懇談会を開催しました。今後もこうした機会を通じて協会へのご意見、ご要望をお寄せいただきますようお願いいたします。私を含め、今後とも協会は一丸となって協会の発展並びに業界のために努めてまいりまますので、どうぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

**来賓祝辞**

**■ 環境省 環境再生・資源循環局長**

**土居 健太郎 氏**

皆様、こんにちは。環境省で資源循環を担当しております土居でございます。本日は懇親会開催まことにありがとうございます。

私からは大きく2点申し上げます。

今般5月5日に石川県におきまして地震が発生し大変な被害が生じておりま



す。現時点では県が中心となって地域の石川県協会の皆様方と結んでいただいていた協定に基づきまして、発災翌日から仮置き場の開設、維持管理などに入っただき、極めて迅速な災害からの復興をスタートしていただいているところで。残念ながら、地震、大雨は毎年のように繰り返されておりますので、その備えは極めて重要で、支えていただくのは廃棄物の循環をしていただいている皆様方のお力あってのことだと思っております。ぜひ各地で自治体と協議を重ねていただき、事前の備えに連携していただければと思っております。

2つ目は循環の話ですが、政府全体といたしましては2050年カーボンニュートラルを大きな方針として掲げております。次に大きな柱といたしましては、資源の循環で、この2月には政府全体でGXの基本方針を閣議決定いたしました。この取組を徹底するための大きな柱として資源循環が掲げられているものです。中身といたしましては、動静脈連携で資源循環を進めていく、これをビジネスとして具現化していくということが明記されています。環境省をはじめ経済産業省、国土交通省、農水省、事業官庁とともに力を合わせてこの実現に向かって汗をかいていきたいと思ひますので、具体的なアイデアがございましたらお寄せいただ

きますよう、この場をお借りしてお願い申し上げます。

いずれにしましても、ますます皆様方のお力を必要とする日本になってきております。環境省もますます汗をかいて皆様をお支えしていきたいと思ひますので、引き続きよろしくお願ひいたします。本日はおめでとうございます。

**■ 協会顧問 東京都議会議員**

**田村利光 氏**

皆様、こんにちは。先輩方がいらっしゃる中ですが、ご指名いただきましたので挨拶させていただきます。

我々は議会を通じて東京都の環境行政を皆様と力を合わせて、しっかりと進めていきたいと思っております。

昨年、小池東京都知事が太陽光パネル設置の義務化を発表しました。それにより、皆様にも太陽光パネルリサイクルの重責を担っていただくこととなりました。また、リチウムイオン電池、再生骨材など、さまざまなことにしっかりと対応させていただくつもりでございます。ご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

人は、危機に直面すると、愚か者は壁を作り、賢き者は橋を架けるそうです。コロナ禍は、愚か者かどうにかかわらず、我々にコミュニケーション分断という形で壁を作らせました。しかしこれからは橋を架けていくときです。資源循環という形で皆様とともに架け橋をたくさん作っていきたくと思ひます。ご支援をよろしくお願ひいたします。本日はおめでとうございます。



宇田川 聡史 議員



高島直樹 議員



田村利光 議員



山崎一輝 氏

**■ 東京都環境局長**

**栗岡 祥一 氏**



皆様、こんにちは。本日は滞りなく総会を終えられたとうかがいました。おめでとうございます。また、日頃、東京都の環境行政、とりわけ資源循環や廃棄物関係の行政に多大なご協力をいただいております。この場をお借りしてあらためて御礼申し上げます。

私からも2点、御礼とお願ひを申し上げます。



1 点目は、5 月 8 日にコロナの分類が変わり、今までと違ったフェーズになりました。コロナ禍のもとでは、ここにいらっしゃる皆様方に非常に大きな力を発揮していただいたことに感謝いたします。エッセンシャルワーカーとして、日々、廃棄物の処理やリサイクルに従事していただいたことに、心から感謝したいと思いますし、東京都も宿泊療養施設などを作っていたのですが、それらの施設から出る廃棄物をこちらの協会の皆様に処理していただいたりしていました。このことにも重ねて感謝を申し上げます。

もう 1 点は、さきほど環境省の土居局長からもお話がありました。災害廃棄物の関係です。協会の鈴木会長には廃棄物審議会の委員をしていただいております。また、都と協会で災害が起きたときの協定を結んでいます。これまでは、地震を中心に考えておりましたが、最近は風水害が増えてきています。風水害は地震とかなり違いまして、地震の場合は余震が終わるまでごみがなかなか出ないのですが、水害ですと水が引いたらすぐにごみが出てきてしまうので、早く対応しなければなりません。また、家財道具などが大量に出てくるため、処理する量も違ってきます。各自治体と事業者が役割分担をあらかじめ決めておかないと大変なことになると思っております。そのあたりについても審議会で審議しております。ちょうどこれからパブリックコメントというフェーズに入りますが、計画が出た後も、皆様方のご協力をいただきながら各自治体で個別に災害時の廃棄物処理について、事前の備えが必要になります。あらためましてよろしくお願いたします。

ここにいらっしゃる皆様のご多幸とますますのご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はまことにおめでとうございませ

■ 公益社団法人 全国産業資源循環連合会  
専務理事 室石 泰弘 氏



本日はまことにおめでとうございませ

まず、全産連の 5 月 23 日の理事会で決算を報告し、無事に監査も終わることができましたことをご報告いたします。

新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行し、電車の中でも 2～3 割の方がマスクを外しているという印象をもっているところですが、来月の全産連の総会は、久しぶりに顔を合わせて開催させていただきます。上手に距離感を保ちながら、社会が正常に戻っていくところに合わせられればと思っております。

さて、さきほど土居局長から GX のお話や色々興味深い政府の動きを教えてくださいました。私は昨年 10 月に専務理事になり、全産連の政府への要望活動などを調べさせていただいたところ、コロナ禍ということもあったかもしれませんが、ここ数年、予算や税制に対する要望活動を行ってきかなかったということもわかりました。もちろん数年前に、28 項目の要望をさせていただいている

関係もあるかと思いますが、今年は要望活動をさせていただきたいと思っています。東京都産業資源循環協会様とともに、政府に働きかけていければと思っております。ぜひご協力いただければと思

最後にになりますが、東京都産業資源循環協会様がますますご発展されますよう、また、ここにいらっしゃいます皆様方のご健勝を祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございませ

乾杯

■ 公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 理事長 関 荘一郎 氏



今日お集まりの皆様には、私どもの事業で大変お世話になっております。ありがとうございます。いま日本の社会は 2050 年脱炭素に向けて大きく変わりつつあります。排出事業者の変化を受けて、皆様も変わってきていることと思います。

国連の国際資源パネルが出した大変興味深いレポートがありまして、世界の CO<sub>2</sub> 排出量の半分は、資源の採掘や加工の過程で発生しており、再生資源をバージン資源の代わりに使うことは脱炭素への取組にとって極めて重要であると明確に書かれています。まさに皆様は、いま世界でも

とも求められている資源循環に取り組んでおられます。ぜひ東京都協会の皆様がこの分野の取組をリードしていただきたいと思います。

中締め

■ 加藤宣行 副会長



皆様、最後までお残りいただき、ありがとうございます。さきほどの関理事長のお話をうかがって、いよいよ世界が廃棄物を処理するのではなく、利用する時代が到来したのだということ、そしてこれは我々の未来を作る大きなヒントになるのではないかと思います。

また一方、最近地震が増えています。環境省の土居局長、東京都の栗岡環境局長のお話にもありましたが、東京都で災害が起きてしまったら、大量のがれきなどが発生します。我々は、災害廃棄物を処理するのが仕事ですが、ビジネスを超えて、我が国の復興を支えるという気概を持ちたいと思っています。そのためには、協会の団結力がますます必要です。これからも鈴木会長を筆頭に協会一丸となって、我が国のために尽力していくこともお願いして、締めの挨拶とさせていただきます。



以上で、本日の全日程を終了した。

## 来賓芳名簿

(順不同、敬称略)

環境省 環境再生・資源循環局 局長 廃棄物規制課長	土居 健太郎 松田 尚之
東京都議会議員 東京都議会議員 東京都議会議員 前東京都議会議員	宇田川 聡史 高島 直樹 田村 利光 山崎 一輝
東京都 環境局 局長 資源循環推進部長 産業廃棄物対策課長	栗岡 祥一 志村 公久 田中 利和
公益社団法人 全国産業資源循環連合会 専務理事 公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター 理事長 一般財団法人 日本環境衛生センター 理事長 公益財団法人 東京都環境公社 常務理事 一般社団法人 東京建設業協会 事業委員会 環境部会 部会長 事業部長 事業部次長 兼 経営支援課長	室石 泰弘 関 莊一郎 南川 秀樹 谷上 裕 大竹 利幸 奥 尚子 島田 久史
一般社団法人 東京建物解体協会 副会長 建設廃棄物協同組合 理事長 首都圏廃棄物事業協同組合 副理事長 東京廃棄物事業協同組合 副理事長	森屋 光石 富山 盛貴 小出 英昭 尾崎 泰裕
協会 顧問 弁護士法人 芝田総合法律事務所 代表弁護士 協会 顧問 梅澤公認会計士事務所 所長・公認会計士 協会 相談役	芝田 麻里 梅澤 隆 乙 顔 均

## 全国産業資源循環連合会

### 第 70 回 関東地域協議会 が開催された

(公社) 全国産業資源循環連合会 [以下、全産連] 関東地域協議会が、令和 5 年 4 月 18 日(火)午後に東京都千代田区内で開催された。当協会から、鈴木会長ほか、副会長、専務理事及び常任理事が参加した。会議の概要を報告する。

木村 尊彦

#### 1 関東地域協議会決定事項

- ・ 災害廃棄物処理相互応援協定の締結について、梅雨前の協定発効を目指す。
- ・ 東京都協会からの、全産連の理事・委員会・部会メンバーの推薦は以下のとおり。  
鈴木会長が理事、細沼副会長が建設廃棄物部会委員。
- ・ 令和 5 年度の事業計画  
秋の関東地域協議会は千葉県協会が担当で 11 月 16 日(木)に開催する。  
建設廃棄物処理料金調査を実施する。災害廃棄物委員会を継続する。

#### 2 全産連からの活動報告

- ・ 令和 4 年度は収支均衡となった。
- ・ 2 年後の廃棄物処理法の見直しに向け、国に意見を言っていきたい。
- ・ 女性部会の今後の活動予定について報告があった。

#### 3 環境省 廃棄物規制課長 松田氏の講演

- ・ 不法投棄・不適正処理対策として、原状回復基金への民間からの拠出を期待している。
- ・ 処理業者に係る取組みとして、優良産廃処理業者認定制度とデジタル化を進める。
- ・ 資源循環分野の脱炭素化に向けて、2030 年までの施策を実施し、2050 年までに実質排出ゼロを目指す。GX の実現とそのため支援措置を講じる。
- ・ 有害廃棄物対策として、水銀、石綿、POPs、PCB 廃棄物等の処理を適正に行っていく。



収集運搬委員会

産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー

令和5年5月17日(水)14時より、エッサム神田ホール2号館(千代田区内神田)にて収集運搬委員会(加藤宣行 委員長)主催の「産業廃棄物収集運搬業のための採用設計セミナー」を開催しました。当日は会員企業より60名の参加があり、各社の採用担当など多くの実務者が真剣に耳を傾けていました。(株)三凌商事 大崎 秀也)



セミナー会場

冒頭に加藤委員長より「毎年、委員会として様々なイベントを企画してきている。本日は採用について学んでいきたい。講師より厳しい採用戦線に対する失敗も成功も含めた設計を学び、会員企業の実際の成功事例も交えながら各社で持ち帰って実践できるようにフォロー体制も整えたので最後まで楽しんで学んでいただきたい。」と挨拶があった。

● 第1部

セミナー第1部は講師の(株)LIGO 代表取締役 長妻 潤 氏より「採用数200%を実現する採用設計/実務の考え方」と題し講演いただいた。同社はドライバー採用に特化した採用広告会社であり、昨年

は採用成功率90%、採用費削減平均50%の実績を誇る。企業の「採用力UP」をしなければ今後採用ができなくなっていくため、売上高や企業イメージの「企業力」、職場環境や給与・休暇などの「労働条件・処遇」、採用広報や採用実務の「採用活動」の3つの対策が必要になる。その中でも「採用活動」の中の採用実務(いつ誰が何をどのように行うか)が重要で、特に「面接」のやり方が面接官によって違わないか、面接前後の電話対応が解り易くスピーディーでリマインドコントロールができ



長妻 氏

ているか、面接官と応募者は対等な扱いになっているか等のポイントをわかりやすく説明いただいた。面接は、応募者は1人ではなく、その後ろにいる1,000人の人材を意識して面接すると強い面接を行うことができる等のアドバイスもあった。また求人広告では「誰に何を」のターゲットをしぼっているのか、自社の魅力として①目標②活動③構成員④特権の4つの魅力が整理されているか、意味報酬(感情報酬)が採用広告に表現できているか等の自社の良さを見つけれられているかなどのポイントがわかりやすく説明された。(下表参照)

● 第2部

セミナー第2部は講師の(株)LIGO 営業



豊田 氏

マネージャー 豊田 梨子 氏より「採用成功に本気で向き合った話」と題して、会員企業のティー・ビー・ロジスティクス(株)のドライバー採用設計の成功事例を紹介いただいた。採用広告を半年間だして採用は3名という現状だったのに対し、(株)LIGOに相談をして同じ半年で12名を採用できた内容となっており、ティー・ビー・ロジスティクス(株)社員の生の声を拾い上げ、面接のコツのアドバイスや採用成功までの道のりを徹底サポートした結果が採用力UPにつながったようだ。



パネルディスカッション風景

● 第3部

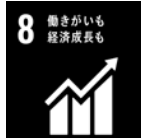
セミナー第3部は(株)LIGOとティー・ビー・ロジスティクス(株)のパネルディスカッションが行われた。採用は完全に内製化すべきか、採用活動において最も大切なものは何か、今回の採用活動が成功した最大の要因は何かなど関連な意見のやり取りがあり、参加企業の採用担当者にとって実のあるディスカッションとなった。



全体を通して、採用担当者であれば誰も身に覚えがあり、従来考えていた採用方法に一石を投じる充実したセミナーとなりました。セミナー終了後は、(株)LIGOの担当者らと参加者で名刺や情報交換、相談の時間を設け、そこでも時間いっぱいまで参加者の質疑が続いていました。このような企画を今後も開催していく予定ですので、収集運搬委員会企画に是非広くご参加ください。

良い面接	悪い面接
①じっくり聞いてくれる(傾聴)	①面接官のマナー・態度が悪い
②フレンドリーで気さくな雰囲気	②雰囲気が硬い・圧迫感がある
③フィードバックアドバイスがある	③採用する気・やる気が感じられない
④面接官の名前・所属の説明がある	④何を知りたいのか、質問の意図が不明
⑤応募者の素の自分を見てもらえる	

広報委員会では、毎月、SDGsの目標を一つずつ取り上げ、一体なにをしたらいいのか意見交換をしている。意見交換は脳を活性化してくれるので、お勧めします。



## 目標 8 経済成長と雇用

- 次世代に向けた処理システムの変更には、優秀な従業員が必要である。そのためには人材の多様化が求められる。その実現には働きやすい環境整備や、公平・平等な処遇が必要である。
- きたない、きつい、きけんは、過去の3K。新しい3Kは、給料が高い、休暇が多い、希望の持てる職場である。職場の居心地や、仕事のやりがいがある。自社の新しい4K、5K…を考えてみよう。
- 中卒・高卒・女性・外国人を含めた幅広い求人对象に、業界の役割や自社の魅力をSNS、動画・アニメ・ミニカー等を活用してアピールしていこう。
- 従業員の着心地の良い清潔な制服、臭いのしないピカピカのパッカー車、区市町村の清掃工場のように整理された装置、を整えよう。
- 持続可能な経済成長を目指し、廃棄物の排出事業者の要求水準や資源需要家のニーズに合うように、内容物や大きさを柔軟に変えたりリサイクル用素材を提供していこう。省エネ機器による機械化やAI化を進めよう。こうして新しい3Kを実現できる企業に自らを成長させよう。

【包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する】

<input type="checkbox"/>	8.1	各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。
<input type="checkbox"/>	8.2	高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。
<input type="checkbox"/>	8.3	生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。
<input type="checkbox"/>	8.4	2030年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する10年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。
<input type="checkbox"/>	8.5	2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに同一労働同一賃金を達成する。
<input type="checkbox"/>	8.6	2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。
<input type="checkbox"/>	8.7	強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。
<input type="checkbox"/>	8.8	移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。
<input type="checkbox"/>	8.9	2030年までに、雇用創出、地方の文化振興・産品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。
<input type="checkbox"/>	8.10	国内の金融機関の能力を強化し、すべての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。
<input type="checkbox"/>	8.a	後発開発途上国への貿易関連技術支援のための拡大統合フレームワーク（EIF）などを通じた支援を含む、開発途上国、特に後発開発途上国に対する貿易のための援助を拡大する。
<input type="checkbox"/>	8.b	2020年までに、若年雇用のための世界的戦略及び国際労働機関（ILO）の仕事に関する世界協定の実施を展開・運用化する。

## リスクに気づくアンテナ磨け 当事者意識で事例共有 ゼロ災目指す安全ミーティング

令和4年度 安全衛生標語コンクール 安全衛生推進委員会 佳作受賞作品  
(一社)東京都産業資源循環協会

### 身近なヒヤリ・ハット事例 Part 168

	何処で	何をしている時	何がどうした	改善事項
1	交差点で	青信号であることを確認をして直進している時	対向車が右折しようとして突っ込んできて急ブレーキを踏んだ。	青信号であっても常に状況を確認して、「かもしれない運転」を心掛ける。特に右折対向車がいる場合は急な動きに備え、構えブレーキで慎重に走行。
2	一般道で	自動車運転中	車道路肩を走行中の自転車が、バランスを崩して車道にはみ出し蛇行走行してきたため、急ブレーキをかけた。	自転車など路肩走行車がいる場合は、自転車との距離を1.5m以上とり、急な動きに備えて慎重に走行。
3	一般道で	雪で凍結したところを運転中	スリップした。対向車、後続車がなかったため事故にならずに済んだ。	雪道や凍結路を走行するときは、通常より速度を落とし、急ハンドルや急ブレーキを避ける。また、カーブを通過するときや交差点で曲がる時は手前で十分に減速する。
4	トラック荷室で	廃棄物の運び入れ、荷下ろし中	荷室に積んだ廃棄物を整理するため引張り、テールゲートリフターに載せるとき、後ろ向きで引張ったため、テールゲートリフターのストッパーにつまづきバランスを崩して落ちそうになった。	トラック荷台上やテールゲートリフター上での台車移動の際は、前が見えるように台車後方から押す。

「ヒヤリ・ハット」の事例がございましたら、協会までお寄せください。





## 全国産業資源循環連合会女性部協議会主催 『第1回実践研修会@京都』を実施！

昨年11月に発足した(公社)全国産業資源循環連合会女性部協議会の初の視察会を、4月19日(水)～20日(木)に実施しました。

環境省から2名の女性職員の方の参加もあり総勢23名。観光一切なしの弾丸ツアーで、大変内容の濃い二日間となりました。その模様は東京女性部の(株)トーホークリーン前川社長からご報告します。  
(女性部協議会 会長 二木 玲子)

全国産業資源循環連合会女性部協議会の「京都実践研修会」に参加させていただきました。

北は青森から南は鹿児島まで元気あふれた女性たちの参加で貸し切りバスもいっぱい走り出しました。

初日は「女性が活躍できる職場環境づくりや京都の地域資源を活用した事業への取り組みについて」(株)ウエダ本社の岡村充泰 社長からご講演を拝聴しました。

女性に特化した環境づくりではないが、人にスポットをあて人の個性や対応性を重視し人を生かした価値を創出でき

る働く場、働き方を考えていくことが大切であること。又地域で楽しく働けるように地域全体をデザインするソーシャルビジネスを展開されて地方でも活躍されている様子でした。講演の場所「ATARIYA Tango Innovation Hub」も地元で冠婚葬祭にも広く利用されていた料亭をリノベーションされて丹後ちりめんの織物の工程が見れるように展示しており、外国からは有名ハイブランドのデザイナー達が視察に来るほどに地域発展につながっているようでした。

2日目は7時半集合で(株)山本清掃・京丹波ウエスの見学。(株)ヤマモトホールディングスの社長室長の銭本 譲氏に案内いただきました。工場入り口には見事な満開の八重桜で桃色に染まるほどの美しさと WELCOME ボードで出迎えていただき、入れ替わり、立ち代わり写メの嵐となりました。

ウエス工場内は広く明るくとても静かでした。

支援学級の指導者としての講習を受けた指導員の方と、少し人と接することが苦手、又記憶にとどめることが苦手な方など軽度な障がいのある方5～7名ほどが個性と特技を生かした持ち場で静かに作業されており、いかに障がい者の方々とのコミュニケーションを大切に



③(株)山本清掃・京丹波ウエス見学 ④古布が集まった場内で作業説明を受ける



⑤、⑥(株)京都環境保全公社 施設見学 ⑦環境省環境再生・資源循環局 廃棄物規制課 影山課長補佐

し、無理せず、焦らず働きやすい環境を整えられているか、努力が伝わってきました。

分別された古着の殆どは東南アジアへの輸出、国内でのリユースは1%に過ぎず、中でも白色の木綿素材が一番高価で冬物が一番安価らしいです。

最後の視察は新設された高効率熱回収施設の見学、「男性社員の育休取得100%」を実践している(株)京都環境保全公社の営業部 岡本浩一 部長に案内いただきました。

人員確保のために健康経営優良法人制度「ホワイト500」の認証を社員一人一人が健康で生き生きと働けるように毎年取得され、又面接者の8割が志望の動機となっているようです。育休、有給など今後の働き方改革には重要なポイントだと感じさせられました。社員の禁煙活動も浸透し「健康経営」が人員確保につながり会社の礎になっていると思われました。

2日間のスケジュールの中で講演や

施設の見学又各地方の同業者の女性たちと触れ合える機会を得られとても有意義な研修会となりました。是非、2回目の企画を楽しみにしたいと思います。

(株)トーホークリーン  
前川 佑子 記

### QRコード

全産連女性部協議会はこの業界の女性経営者や女性スタッフの方達ならどなたでも気軽に参加できます。下記のQRコードからコミュニティにご登録ください。返信のメールが届いたら申込み完了です。



① ATARIYA Tango Innovation Hub での(株)ウエダ本社岡村社長のご講演 ② 岡村社長を囲んで記念撮影

理 事 会 ・ 委 員 会 報 告

第 8 3 回 理 事 会

開催日時：5月9日(火) 15時5分～17時5分 場所：協会会議室

出席者：理事 17名 / 監事 1名

議題：

1. 決議事項

- (1) 新入会員の承認
- (2) 第11回定時総会の議案の決定
- (3) 災害廃棄物処理の相互応援協定

2. 協議事項

- (1) 第11回定時総会の進行

3. 報告事項

- (1) 4月の月次会計報告及びマニフェスト販売状況  
委員会・部会報告

次回開催日：第84回理事会 7月12日(水)

中間処理委員会 中和・脱水分科会 (板垣 リーダー)

開催日時：4月21日(金) 15時～ 場所：協会会議室 出席委員：4名

議題及び内容：

① 令和5年度の活動について

- ・ 9月に施設見学会開催予定(福岡県内の施設で調整中)
- ・ 2月に会員向けの Web 勉強会開催予定(労働安全衛生法の新たな化学物質規制について)

次回開催日：施設見学会 9月

医療廃棄物委員会 (五十嵐 委員長)

開催日時：4月24日(月) 15時～ 場所：協会会議室 出席委員：13名

議題及び内容

① 令和5年度の活動計画について

- ・ 3都県医療廃棄物合同懇談会(東京・神奈川・静岡)を静岡県で9月15日開催予定
- ・ 研修会を11月に開催予定
- ・ 施設見学会を2月又は3月に開催予定

② 排出事業者(医療機関)向けに感染性廃棄物収納容器への危険物混入防止と8割程度の収納を周知するためのリーフレットを作成し、東京都環境局と東京都医師会の名義を掲載できるように両者に依頼する。

次回開催日：「BCP(事業継続計画)勉強会」8月3日(木) 13時～ 協会会議室

人材確保プロジェクト (二木 リーダー)

開催日時：4月27日(木) 14時～ 場所：協会会議室 出席者：6名

議題及び内容：

① 「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」業界PR動画作成について

- ・ 支援事業運営会社と意見交換を行った。

② 令和5年度の活動計画について

- ・ 「施設見学研修会」を実施する。  
参加者：会員企業の入社1～3年目の従事者とする。  
実施日：10月中で日程調整を行う。  
見学先：東京スーパーエコタウンの施設に打診する。

次回開催日：7月26日(水) 10時～ 協会会議室

中間処理委員会 (福田 委員長)

開催日時：5月15日(月) 15時～ 場所：協会会議室 出席委員：10名

議題及び内容：

① 令和5年度の活動計画について

- ・ 9月27日 LCA 勉強会(破碎・圧縮分科会合同) 正会員はオンラインで参加
- ・ 11月7日 ケミカルリサイクル施設(株)レゾナックの見学会
- ・ 2月7日 研修会開催

次回開催日：勉強会 9月27日(水) 13時30分～ 協会会議室



### 法制度検討委員会（白井委員長）

開催日時：5月16日(火) 14時30分～ 場所：協会会議室 出席委員：10名

#### 議題及び内容：

① 積替え保管業に関する議論の整理

運搬を伴わない積替え保管業の新設に関する議論の整理を行った。管理運営上の課題が多く、プラスチック資源循環法での認定事業者における実施方法などを参考にするため、この議論を終結した。

② 第三者評価制度について

3月2日に東京都環境局と意見交換を行ったことにより、4月からの制度の改正に提案が一定程度反映されたため、この議論を終結した。

③ 新たな検討テーマについて

新たな検討テーマについて議論した。

次回開催日：9月14日(木) 14時30分～ 協会会議室



## 新 入 会 員 紹 介

### 日本テクノ株式会社

代表取締役社長 馬本 英一

賛助会員 業種グループ：その他

\* 電力コンサルティング・保安管理・点検業務・電力小売り等  
電気エネルギーに関する総合サービスの提供

〒163-0653 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル53階

☎ 03(3349)1111

### エクイス環境ジャパン株式会社

代表取締役 ランス・マイケル・カムス

賛助会員 業種グループ：環境産業

\* 最終処分場、中間処理場、廃棄物発電所の開発

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1 京橋エドグラン

☎ 03(6262)3260

## 協会の主な今後の日程

(令和5年6月14日現在)

月	日	曜日	行事予定	備考
7	11	火	全産連 ; 理事会	Web開催
	12	水	広報委員会 10:00~	協会会議室
			三役会議 / 常任理事会 / 第84回理事会	協会会議室
	13	木	全産連青年部協議会関東ブロック 14:00~17:00	協会会議室
	20	木	女性部幹事会	協会会議室
	25	火	焼却分科会 施設見学会	(神奈川県横浜市)
	26	水	人材確保プロジェクト 10:00~	協会会議室
	27	木	青年部	協会会議室
全産連 ; 第一回全国正会員事務局責任者会議			Web開催	
28	金	収集運搬委員会 研修会 15:00~	エッサム神田ホール2号館(千代田区)	
8	3	木	医療廃棄物委員会「BCP勉強会」 13:00~	協会会議室
	9	水	広報委員会 10:00~	協会会議室
	10	木	全産連青年部協議会関東ブロック 14:00~17:00	協会会議室
	17	木	女性部幹事会	協会会議室
	25	金	医療廃棄物委員会 15:00~	協会会議室

#### 表紙の言葉

##### ●今月の写真：[コミュニティバス] 江戸バス(中央区)

平成21年12月から運行され、中央区役所を起点に東京駅八重洲口・水天宮前などを通る「北循環」と、築地場外市場前・勝どき駅前などを巡る「南循環」の2ルートがあります。配布されている路線図の裏面には、日本橋地域・人形町地域・築地地域・月島地域の見どころやおすすすめスポットがテーマごとに特集されています。その1つ「物語をめぐるマップ」では中央区内の映画、ドラマ、小説で舞台となった場所(例えば、池波正太郎の小説「鬼平犯科帳」の舞台になった石川島燈台、「大川端」の著者 小山内薫が創設した築地小劇場跡の碑など)が紹介されていて、今後の表紙写真の取材先に取り上げてみようか検討中です。

●参照：中央区 HP [https://www.city.chuo.lg.jp/a0035/kurashi/koutsuu/koukyoukoutsuu/edobasu/20151201\\_syoukai.html](https://www.city.chuo.lg.jp/a0035/kurashi/koutsuu/koukyoukoutsuu/edobasu/20151201_syoukai.html) ●撮影者：塩沢 美樹(機関誌編集担当)

（株）太陽油化 大屋根工



坂本鉄工建設

産業資源循環業の『困った』を解決できる坂本鉄工建設  
施設の建築、改修、耐震補強、増築など承ります。



- ☆特殊な技術で施設を稼働しながら施工が可能
- ☆設計から鉄鋼建材の加工、建設までオーダーメイドで施工でき、短期・低コスト
- ☆有効スペースを最大化でき、自由設計しやすいS造の技術で、おしゃれで快適な空間作りを提案できます。

☆お悩み解決します。

- ①限られたスペースに、思い通りのレイアウトで新設や増設をしたい。
- ②なるべく安く耐震補強をしたい。
- ③外壁や屋根を設置したいけど、工場の稼働を止めたくない。
- ④建替えるとスペースが減ってしまうから、既存建屋を改修したい。
- ⑤従業員が快適に働けるおしゃれな建屋にしたい。
- ⑥土地の用途変更から設計施工まで全部やってほしい。
- ⑦産業廃棄物の中間処理場の事情を知っている業者に施工してほしい。

一級建築士事務所

株式会社 坂本鉄工建設

埼玉県さいたま市見沼区片柳 1-173-1

東京都産業資源循環協会会員様 専用営業窓口

03-3938-0052 (担当：政所)

※東京都産業資源循環協会 会員企業 株式会社 太陽油化のグループ会社です。

産業廃棄物処理・環境ソリューション事業  
株式会社 太陽油化

SOL TERRA  
ソラテラグループ



株式会社  
京葉興業

URL <https://www.keiyokogyo.co.jp>



快適な環境づくりと  
自然との共生をめざして



適正処理と高度資源循環のため  
システムソリューションを推進します

< 京葉興業グループ >

実績と信頼のもと  
多様なニーズにお応えします

株式会社 京葉興業 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町1丁目2番6号 Tel03-3678-0111 Fax03-3670-9140  
三和清運 株式会社 〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町3丁目2番6号 Tel03-3679-8555 Fax03-3679-3855  
株式会社 ビー・アル・クリエイト 〒289-0511 千葉県旭市錦木 3 4 8 4 番地 1 Tel0479-68-4808 Fax0479-68-4809



投稿

## 映画で知る環境問題 Part 3

2023年のGWの前後に見た映画から環境問題を語ってみよう。

木村 尊彦

### ■「VILLAGE ヴィレッジ」(2023)

主人公はごみ処理施設の作業員、と新聞の映画評にあった。ならば、見に行かないわけにはいかない、ということでGW中に見た。

ある村が衰退しているのに、村長兼社長が、廃棄物焼却炉と最終処分場を誘致して、周辺の町のごみも併せて処理する。村の若者たちは、村を離れずにこの会社で仕事を得ることができる。



映画は、このごみ処理会社を中心に話は展開するので、ごみ処理のシーンが多く登場する。ネタバレしないよう、内容は省略するが、処分場の敷地の一角に簡易な柱を立てそれをシートで覆っただけのテントの中での分別作業や作業員の暴力的態度などは、現実にはなくこの映画のためのフィクションだなと思った。

最後に流れるエンドロールの話をしよう。エンドロールの終盤に協力会社「山一商事」との表示があった。僕は、この社が廃棄物処理会社であろうと思い、映画を見たあと、産業廃棄物処理事業振興財団の「さんぱいくん」で、山一商事と検索してみた。2件ヒットし、そのうち一件は最終処分場の許可も有している。この業者を調べると、東京都産業資源循環協会の正会員である。そうであるならば、この会社に協力会社であるか否か確認するために電話する名目もたつ、ということで、さっそくこの(株)山一商事に電話した。担当者から僕に折り返しの電話があり、確かにこの協力会社はわが社であるとの回答であった。この担当者がおっしゃるには、映画の製作者からインターネットで当社を知ったので協力してほしいと頼まれ、この映画の脚本の製作段階の1年半にわたって関わったとのことである。廃棄物を受け入れる際の手順や、manifestoの仕組み等について教えたとのことであった。

### ■「せかいのおきく」(2023)

上の映画の女性主人公と同じ俳優さんが演じている映画。これもGW中に見た。他の映画を見に行った際にこの映画の予告編は5回以上見ていたが、最初の3回くらいは、これがくそ(ふん尿)の話だとはまったく思わず予告編を見ていた。でも4回目くらいに、はたとこの映画で若者が担いで運んでいるものがくそだと気がついて、この映画も見逃す

わけにはいかないと思ったのであった。映画の中で臭くて迷惑がられているこの仕事人は、「俺がくそを取りに行かなかったら江戸の町はくそであふれてしまう。」とこの仕事の大事さを訴えていた。

僕が映画を見た翌日のNHKラジオで、この映画の監督はこの映画は「くそつたれ青春時代劇」だと言っていた。

江戸時代のふん尿は、廃棄物ではなく有価物である。



### ■「グレート・グリーン・ウォール」(2019)

アフリカのマリ出身のミュージシャンが、サヘル地域(サハラ砂漠の南のベルト地帯)での緑の長城づくりを見て回る。セネガル、マリ、ナイジェリア、ニジェール、エチオピアを巡る場面が登場する。(ここで僕からの問題です。Q この5か国のうち、かつてイギリス領だったところはどの国か?)。干ばつの被害で砂漠化が進み、離農せざるを得ない。チャド湖は90%が干あがってしまった。リビアやアルジェリアを経て地中海を渡ってヨーロッパに行こうとするが、途中で密航業者に金を巻き上げられたり、地中海で遭難してしまう。

映画のパンフレットでは8,000 km すべてが緑の帯になっていたが、グレート・グリーン・ウォールはまだ15%しか完成していない。You can make a change.

### ■「子どもの瞳をみつめて」(2022)

山の急斜面の岩肌に立ち、ハンマー等で岩を砕いている10歳前後の男の子たち。その下の平場では小さい女の子がさらに岩を細かく砕いている。粉じんは大丈夫?

海では、口にくわえたホースから供給される空気を吸いながら、海底の泥を浚い、70Lくらいの大きさのプラ袋にいっぱい詰めて海岸まで運び、何かの金属を取り出す、男の子。苦しくない?

自分の体重くらいある重い荷物を首の後部に載せて運ぶ小学生くらいの男の子。子供の背中が曲がり出してくの字になってしまう。神経が圧迫されるのだろう、足がマヒして動かなくなる。

水頭症で歩くことができない、男の子とそれより小さい女の子。(映画のチラシでダイオキシンが原因と知る。)

これらを説明なく映し続け、家族間の会話も一部しか字幕にならない。

新聞評で、フィリピンの巨大なゴミ集積所があるパヤタス地区に暮らす子供たちに密着した映画とあったが、ごみ処分場は一回しか映像には現れなかったな。

これらの子供たちを8年間追い続けてできた映画だそう。子どもたちが成人した頃に就いている仕事はさて何でしょう?



事務局だより

5月8日から新型コロナウイルス感染症が2類から5類に位置付けられ、世間でも少しづつ以前の生活に戻りつつありますね。

私はまだ通勤や工作中、街中に出かける時はマスクをしているのですが、先日、美容室に行った時に「マスク外しますか?」と訊かれました。ちょっと戸惑ってしまい、「皆さんそうされていますか?」と尋ねたところ、マスクのままと外す人、半々くらいとのことでした。

結局、私はまだ感染が心配な気持ちと外すのが恥ずかしい気持ちがあり、マスクのままで施術してもらいました。3年間もマスクをしていて顔全面を見せてこなかったのが、なんとなく気恥ずかしいんですね。とくに、コロナ禍中に出会った人とはマスク姿しかお互い見せていないこともあり、マスクを外したお相手を見て「あれ?イメージと違うぞ」と思うこともあり、なんとなく恥ずかしいんです。

先日、私の好きな場所のひとつ「神代植物公園」に行ってきました。ここは大きなバラ園があり、毎年バラが咲く時期には訪れる場所です。この3年間はマスクをしたままでしたが、今年は周りの人とも十分に距離が保たれていて、屋外ということもあり、マスクを外してバラを鑑賞しました。マスクを外すとバラ園全体から良い香りがふうっと感じられ、とても解放された気分になりました。早く、安心してマスクを外して日常生活をおくれる日が来ると良いなと改めて思ったところです。

(小熊)

編集後記

5月の総会とその後の懇親会は、多くの会員とご来賓、関係者の皆様にお集まりいただき、4年ぶりにコロナ禍以前の形式で開催されました。

会長、副会長やご来賓の方々からのお言葉にも、「温暖化対策」や「災害廃棄物対策」に関わる内容が多いようでした。

JWセンター理事長の関様より乾杯のご発声に際して、国際資源パネルの声明が引用されまして、「世界のCO<sub>2</sub>排出量の半分は、資源の採掘や加工、輸送などの過程で発生しており、再生資源をバージン資源の代わりに使うことは脱炭素への取組にとって極めて重要であると明確に書かれています。」との事です。資源循環協会として、本業そのものが温暖化対策に貢献できている認識は、業界を挙げて大切にしなければと思います。

5月の日経新聞の記事では、「今年の夏から冬にかけて、異常気象の原因ともなるエルニーニョ現象が約4年ぶりに発生するのが確実となった。それも強力な「スーパーエルニーニョ」になる可能性が高い。エルニーニョは熱帯太平洋の現象だが世界の気象に大きく影響し、地球の気温を全体として押し上げる。」と報じています。そうすると、局地的豪雨による災害廃棄物への心配や、夏の冷房、冬の暖房のために、電力需要も増えることでしょう。

WMO(世界気象機関)によると、エルニーニョと温暖化の相乗効果で「地球の気温は未知の領域に入る」と警告しています。2023年~27年の何れかの年に地球の平均気温が過去最高となる確率は98%だそうです。

私たちは、資源循環を通じた社会課題解決に取り組みます。同時に市民の立場としても、「大量消費」のライフスタイルを見直す必要があるのだと感じます。

(森)

とうきょうさんぱい

第40巻第4号通巻第394号

令和5年7月1日発行

発行人  
企画・編集  
発行

鈴木宏和  
広報委員会

一般社団法人 東京都産業資源循環協会

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-9-13 柿沼ビル7F

TEL 03(5283)5455(代表) FAX 03(5283)5592

https://tosankyo.or.jp E-mail: info@tosankyo.or.jp

創業62年、人々が安心して生活できる  
安全で快適な環境づくりに貢献します



廃棄物処理

- ◆一般廃棄物収集運搬
- ◆産業廃棄物収集運搬
- ◆医療系廃棄物
- ◆資源リサイクル

警備

- ◆施設警備
- ◆駐車場管理
- ◆交通・雑踏警備

建物清掃

- ◆日常清掃
- ◆定期清掃
- ◆浄化槽・貯水槽清掃

環境衛生

- ◆空気環境測定
- ◆水質検査
- ◆害虫駆除

練馬の大地  
おいしい作物は元気な土づくりから...  
弊社の資源リサイクルセンターにて学校給食残さをリサイクルし、良質の土壌改良材を精製しております。

2019-2022 取壊選定  
産廃エキスパート  
認定番号 4-18-00058

IGARASHI 総合ビルメンテナンス  
株式会社 五十嵐商会

【本社】〒177-0031 東京都練馬区三原台2-1-27 TEL03(3922)7547 FAX03(3978)1533  
http://www.igarashisyukai.co.jp 五十嵐商会 検索

PCBの処理期限までの全量廃棄を目指します  
PCBに関するあらゆる問題をワンストップで解決していきます

全数調査 選別調査 分析・運搬業務 申請サポート



解体や全数調査時に新たにPCB廃棄物が見つかる事例があります。  
調査漏れが不安な方はお気軽にご相談ください。

北九州事業エリアで  
処分期間後に発見された  
高濃度PCB廃棄物  
196件  
(令和2年10月末現在)  
環境省 <http://www.env.go.jp/recycle/poly/confs/tekisei/28pcb.html>

KATO 加藤商事株式会社  
http://www.katosyoji.tokyo

未来の地球に持続可能な環境を創る企業

本社 〒189-0011 東京都東村山市恩多町1-12-3  
TEL: 042-392-1001 FAX: 042-394-1453  
赤坂営業所 〒107-0052 東京都港区赤坂4-4-14 未来環境創造ビル1F  
TEL: 03-6277-7187 FAX: 03-6277-7197

一般社団法人日本PCB  
全量廃棄促進協会 (JPTA) JPTA  
ea  
2019年度 取壊選定  
産廃エキスパート  
認定番号 5-19-00038